

平成29年度 第3回社会教育委員の会議 会議録

- 1 開催日時 平成30年 3月12日(月) 14時00分～16時00分
- 2 開催場所 宇都宮市役所14A会議室(14階)
- 3 出席委員 15名  
河田委員長, 村田副委員長, 船山委員, 今井委員, 櫛渕委員, 松本委員,  
山口委員, 福田委員, 高橋委員, 関口委員, 加藤委員, 小池委員,  
佐々木委員, 増渕委員, 小平委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名

6 内容

(1) 報告事項

- ① 平成29年度 放課後子ども教室の実施状況について
- ② 平成29年度 魅力ある学校づくり地域協議会事業の実施状況について
- ③ 平成29年度 家庭教育支援事業の実施状況について
- ④ 平成29年度 宇都宮市民大学の実施状況について
- ⑤ 平成29年度 人材かがやきセンター主催講座の実施状況について
- ⑥ 平成30年宇都宮市成人式の実施状況について
- ⑦ 「宇都宮市歴史文化基本構想」について

(2) 協議事項

- ① 「第3次宇都宮市地域教育推進計画」について
- ② 「第2次宇都宮市読書活動推進計画」について
- ③ 平成30年度 社会教育行政の基本方針及び重点施策について
- ④ 平成30年度 文化行政の基本方針及び重点施策について
- ⑤ 平成30年度 社会教育関係団体に対する補助について

(3) その他

- ① 平成30年度宇都宮市立小・中学校の「土曜授業」実施予定日について

7 発言の要旨

河田委員長	それでは、報告事項①「平成29年度 放課後子ども教室の実施状況について」事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料について説明】
河田委員長	ありがとうございました。

短い報告事項なので、③まで続けて説明をしていただきます。その後、ご意見・ご質問等をお受けいたします。

それでは続いて、②「平成29年度 魅力ある学校づくり地域協議会事業の実施状況について」説明をお願いします。

事務局 【資料について説明】

河田委員長 ありがとうございます。

それでは続けて③「平成29年度 家庭教育支援事業の実施状況について」の説明をお願いします。

事務局 【資料について説明】

河田委員長 ありがとうございます。

それでは、①②③について、ご意見・ご質問等があれば、お願いいたします。

高橋委員 2点お伺いします。

まず、資料2の事業実施における成果について、これを判断する要素はどんなもののでしょうか。データ、アンケートなどによる判断・評価になっているのか、教えていただきたい。

2点目は、資料3の親学出前講座について。PR・広報活動は紙ベースが多いように思うが、若い親御さんたちは、スマホで見られる形で情報が出ると大変得やすいようです。そういうICTを使った広報をお願いしたいが、お考えを伺います。

事務局 1点目の成果につきましては、受講者にアンケートを実施しており、それに基づいたご報告となっております。

2点目の広報活動につきましては、紙ベースのものとして5月の広報紙に掲載をしているほか、市のホームページでもお知らせをしています。参加者へのアンケートで、講座を何でお知りになったか伺っていますが、ご指摘のとおり、ホームページなどの電子情報で知ったという方が非常に多い状況です。今後も引き続き、電子媒体を活用していきたいと考えています。

加藤委員 魅力ある学校づくり地域協議会に地域コーディネーターとして関わっている者としての観点からご意見を申し上げます。

保護者の認知が低いというお話がありましたが、今日もティッシュをどう配るかを学校で話し合ってきたところです。実際に活動してみると、地域主体の活動ではありますが、地域の人材プラス保護者の力が大変大きく、ちょっとした活動であれば、地域に声をかけなくても、保護者の方にお問い合わせすると活動がスムーズにいくことがあり、PTAとの連携が非常に考えられるところではないかと思えます。保護者の方に「保護者の皆様も地域の一員ですから、皆様もボランティアにどうぞご参

加ください」と呼びかけても、どうもピンとこないようで、地域の中に保護者がいるという考え方と少しずれてしまっているようなので、地域と保護者を分けずに、PTAと連携しながら、保護者も地域の一員として学校支援に関わっていけるような文面などを入れたり、PTAの委員会活動などと上手く繋げられれば、保護者の方にも認知が広がりますし、学校にも目が向くのではないかと思いますので、考慮いただきたいと思います。

河田委員長

貴重なご意見、ありがとうございました。  
他にございますか。  
ないようですので、先に進めさせていただきます。  
④⑤は関連事業ですので、続けて説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

河田委員長

ありがとうございました。  
ご意見・ご質問等があれば、お願いいたします。

船山委員

様々な講座があり、受講者もかなりの方がいて、ありがたく思いますが、この学んだ成果が活かされているのか、どのくらいの方がその辺まで目が向いているのか、分かれば教えていただきたい。また、登録する制度があったかと思うが、こういう方々も登録されている方が結構いるのでしょうか。

事務局

成果については、受講した方のうち、どのくらいの方が実際に次の活動につながったかなどのデータは持っていませんが、人材かがやきセンターの主催講座の中の、8番「坂井塾」は、子どもの体験活動を宮のものづくり達人の坂井先生から学ぶ講座ですが、11人の受講生が、「ひとづくりフォーラム」で坂井先生のブースをお手伝いし、子どもたちにおもちゃを作成するなど一緒に活動しました。このように、ただ講座をやるだけでなく、実際の活動につながるようなきっかけとなる講座を開催していきたいと考えています。

また、10番「宮の朝活」は、前期と後期があり、後期は前期の受講生が企画運営委員になって、職員と一緒に企画・運営を行いました。朝活は若い世代を対象に募集をしており、次の活動につながる内容を来年度も引き続き行っていきたいと考えています。

船山委員

学びの機会がその後の活躍につながれば、学ぶ意欲も高まっていくと思うので、今後もよろしくお願いします。

河田委員長

どこの市町村でも様々な講座を行っていて、リーダー養成のようなものもありますが、学ぶ人には、自分で勉強したい人と、地域で活躍したい人がいます。いつも問題になるのは、折角学んだことを生かして活躍したいのに活躍する場面无いと

いう事です。自分で活躍の場を作り出すのもなかなか難しいので、その辺を支援していただきたいと思います。

今回、人づくりフォーラムに参加して、インタビューしてみて、宇都宮はこんなに人材を養成していて、活躍の場もこんなにあるのかと思いましたが、行かないと分からない。もっと広がると良いと思うので、よろしくをお願いします。

他に、ご意見等ございますか。

無いようですので、先に進みます。

⑥「平成30年宇都宮市成人式の実施状況について」説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

河田委員長

ありがとうございました。

ご意見・ご質問等ございましたらお願いします。

河田委員長

今回の成人式も、出席者数などについても例年通りというご報告でしたが、プログラムについて、少し問題が指摘されたと聞いています。

成人式に、新成人が企画・参加して運営していくというのは良いことなのですが、何をしてもいい訳ではなくて、教育的な事業ですから、事務局で最終的にきちんとチェックをしないと、折角一生懸命頑張っても、小さなミスが大きな問題にもなりますから、注意をするようお願いします。

小平委員

成人式に出席して、気付いた点を2点お話ししたいと思います。

式典中、女性の方のショールをほぼ全ての方が外していて、ここ数年の指導の効果が表れていると感じました。翌日の報道などで見ると、他の市町の成人式では、式典中もショールを身に付けたままでした。マナー向上のきっかけになると思うので、このような良い点は是非続けていってほしい。

2点目として、進学や就職で宇都宮から出た若者がなかなか戻って来てくれない中で、成人式は地元に戻るいい機会となっていると思います。来年度の予算でも、UJIターンや帰ってきた方が居住するための様々な補助制度など設けているので、成人式の機会を利用してその周知などを行うとよいと思いますが、お考えを伺います。

事務局

各課で新成人に周知したいものについては、パンフレットの配布という形で周知を図っていますが、なかなか見て頂けない、という事がある。また、宇都宮市がPRしている内容については、市長あいさつのDVDに盛り込んで流すこともしていますが、各課で周知したい内容は様々なものがあるので、課題として検討していきたいと思います。

河田委員長

ありがとうございました。

では次に、⑦「宇都宮市歴史文化基本構想」について説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

河田委員長

ありがとうございました。

ご意見・ご質問等ございましたらお願いします。

関口委員

市民向けとかまちづくりとかという観点でのお話がありましたが、学校教育ではこの部分を、どのように考えてこれまでやっていたのでしょうか。

事務局

文化課としては、宇都宮市の歴史や文化を子どもたちに知ってもらう、また伝統芸能を体験してもらうために、宮っ子伝統文化体験教室として、民話語りやふくべ細工の絵付けなど、宇都宮ゆかりの歴史や伝統芸能に触れる機会を積極的に提供していて、そういった団体と連携して、学校に出前授業として講師を派遣したりしています。

村田副委員長

市議会で、29年度の陳情の中で、歴史的な意味のある大谷石の石畳を保存してほしいというものがありました。美しいものだが、車が通るようになって劣化して、大きな凸凹が生じています。「名勝100選」などとして、宇都宮市の文化的な側面の1つとして写真が紹介されたりするので、地域の方が何とか保存・活用してほしい、というご要望だったと思います。しかし、市議会としても、道路を大谷石で直すという事がすぐにできることではありません。今回、基本構想の中で、保存と活用をサイクルとして回していくということが打ち出されていますが、現実問題としては、大谷石を道路に使っていいのかというテーマが出たときに、今回は文化的にはアプローチされずに、道路の関係課で検討していて、長い間継続審議になっていました。結論が出なかったために、陳情者が陳情を取り下げたので、議題から外れてしまうこととなりますが、こういった問題について、文化財として何ができるのかを検討しないと、埋もれてしまうものが増えてしまうのではないのでしょうか。具体的には活用と保存をどのようにしていくのか、進め方についてお考えを伺います。

事務局

基本構想の策定にあたって、市内に3800件の資源を確認したところですが、この全てを調査・保存できるかはこれからになります。地域の方が大切に思っているものや、市として大切にしたい歴史文化資源について、今後、具体的な資源の調査や再評価を行って、地域の人たちと力を合わせて、残していくべきものについては進めていきたいと考えています。

村田副委員長

是非、お願いします。特に、声を吸い上げるルール・方法を確立して、市民の皆さんにそれを深く浸透させていくということが、歴史文化を市民目線で深めていく秘訣ではないかと思うので、上手な吸い上げと浸透についてご検討いただくようお願いいたします。

河田委員長	では、協議事項に入ります。 協議事項①「第3次宇都宮市地域教育推進計画」について説明をお願いします。
事務局	<b>【資料について説明】</b>
河田委員長	ありがとうございました。 これまで、何度も検討してまいりまして、パブリックコメントも考慮して、最終案としてこのようにまとまった、というものです。 ご意見・ご質問等あれば、お願いします。  それでは、よろしいでしょうか。先に進みます。 ②「第2次宇都宮市読書活動推進計画」について説明をお願いします。
事務局	<b>【資料について説明】</b>
河田委員長	ありがとうございました。ご意見・ご質問等あれば、お願いします。  無いようですので、先に進みます。 ③「平成30年度 社会教育行政の基本方針及び重点施策について」説明をお願いします。
事務局	<b>【資料について説明】</b>
河田委員長	ありがとうございました。ご意見・ご質問等あれば、お願いします。
高橋委員	基本方針の中の「高い人間力」というのは、具体的にはどのようなことを目指しているのか。
事務局	「人間力」について、文科省などでは、「社会を構成し運営するとともに自立したひとりの人間として力強く生きていくための総合的な力」と定義しているが、抽象的なもので、少しかみ砕いて「個人」としては、自立した人間として主体的に物事を判断して、多様な人々、周りの人たちと協働しながら新たな価値を創造する、例えば地域の問題・課題に立ち向かう事ができるような人材を育成していく、と言われていています。これを引用しているものですが、この計画の中でいうと、地域における社会教育活動を推進していくものなので、地域の、身近な生活の中で周りの人と協力しながら学習活動や地域の課題解決に向けて積極的に取り組める人、地域の中でリーダーとなる人を育成する、という事に繋がりたいと考えています。
高橋委員	「人間力」に、あえて「高い」と付けた意図は、何かありますか。

事務局 「高い」というのは、社会環境の変化が激しい中であっても、スピード感を持って対応できる、課題の解決に向けて行動できる人材、というイメージです。

河田委員長 国の定義を使いながら、地域で活躍できる人材、という事だと思うが、まずは自立した人間でないといけません。

今の教育の問題点としては、学校教育がパンクしそうな状況であるという事があります。生涯教育・生涯学習などといって、全部合わせて欲張りすぎているが、昔のように、社会教育は社会教育として、学校教育や家庭教育と協力して、それぞれの立場・分野で子どもたちをみる、子育てをしていく、という形のほうが地域連携型として、親・学校・社会という教育3本柱ですっきりする。学校の先生方は「こんなに大変なの？」というくらい大変で、これまで学校で面倒見てきた子どもは、商業的な塾などで見るようになっていきます。経済的に塾などに行かせられない家庭については、様々なところで面倒を見る必要があります。そのような組織が今後注目されると思うし、そのためには人材を育成しなければなりません。真剣に取り組んで、予算もきちんと確保しないといけないと思います。

小さいうちからきちんとした教育をしないと、大きくなれば大きくなるほど問題が大きくなり、お金もかかります。これまでは「義務教育から」という意識が強かったものですが、今は就学前の乳幼児からきちんと教育することが求められてきていて、そうなると思えば必ず地域の力が必要になってきます。真剣に取り組む時期に来ていると思います。

今井委員 「学び直し」について。社会人の学び直しとなると、仕事に直結する学び直しとなりますから、市単独では難しい部分があるので、国や企業などと協力するということが出てくるとは思いますが、お考えを伺います。

事務局 具体的に、例えば市で学び直しの事業を新たに作って提供する、というところまでのイメージはまだありませんが、まずは、一般の方向けの大学の公開講座などの情報を、市でまとめて市民に提供していく、ということが学び直しのきっかけの1つとなると思うので、就労支援をしている部局とも連携しながら、学び直しにつながる学習情報を幅広く提供していくところから始めたいと考えています。

今井委員 これは、就労支援の事業ですか。

事務局 就労支援は、この事業の中の1つと考えています。

今井委員 市民大学などで沢山の大学に協力していただいているのは分かるのですが、本当に何が必要なかは企業に行ってみて分かることもあると思うし、企業の協力が大切になるとは思いますが、企業の協力は考えていますか。

事務局	<p>事業を広げていく中では、企業にご協力いただくという事もイメージしていますが、まずは、どのような情報を市民の皆様提供できるか、というところで、公開講座等の情報提供から始めていきたいと考えています。</p>
今井委員	<p>今、改めて「リカレント」という言葉が出てきているということは、今までやってきた中に、もう少し足りないところがあるのではないかと、いうことで出てきたのだと思うので、これまでの取組も大切にしながら、どういうところがプラスで必要なかを考えていただければと思います。</p>
河田委員長	<p>ありがとうございます。それでは先に進みます。 ④「平成30年度 文化行政の基本方針及び重点施策について」説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【資料について説明】</p>
河田委員長	<p>ありがとうございます。ご意見・ご質問等あれば、お願いします。</p>
松本委員	<p>宇都宮市の宝とは何かと考えたときに、文化協会から出ている者としてご意見申し上げます。文化協会で実施している「ふれあい文化教室」では、大変ユニークな取り組みをしていて、それも歴史があります。このような事業ができるという事は、文化協会のメンバーに立派な人が多いということであり、これも宝であります。歴史の文化、芸術の文化もあるが、「文化」そのものを多くの人たちが担って宇都宮にいる、そのような宝を是非、発掘してほしい。古い文化も大切ですが、今いる宇都宮の宝を発掘して、有効に活用してほしいと思います。</p>
事務局	<p>「ふれあい文化教室」は、文化協会の皆様と学校をまわっていますが、とても好評で、年々希望が増えている状況です。文化・芸術に触れる機会が少なくなっている中で、宇都宮市ならではの事業で、子どもの頃から文化・芸術や伝統芸能に触れることで、担い手となっていただけるように、市民芸術祭に参加していただいたり、更には、エスペール賞ということで、宇都宮市出身で世界に羽ばたいている芸術家の方もいますので、そのような形でつないで行ったり、また、地域で次の世代の人材を育てていくということで、文化協会をはじめ、様々な団体と連携しながら、人材育成に取り組んでいきたいと考えています。今後ともよろしくお願いします。</p>
小平委員	<p>私は概ね良いと思っていますが、「文化創造・継承の推進」のところで、文化基本構想が今年度できて、この中で8つのストーリーを分かりやすく伝えるために、啓発パンフレットの作成などを実施すると記載があり、このようなことは是非やっていただきたいと思うのですが、特に、子どもたちへの教材なども、文化課が中心となって、是非8ストーリーを授業でも活用できるようなまとめ方をお願いしたい。この基本構想の最終的な目的としては、宇都宮の文化として市民のアイデンティティ</p>



ィになっていくという事が大切だと思います。子どものうちから、本当の宇都宮の歴史とか文化に触れられる、しっかりと学べる機会として、学校でも使い勝手がいいような、デジタル教材や副読本を作成するなど、教育センターなどとも連携を図っていただきながら、そういった手法も検討いただきたいと思います。

事務局

これから、教材の作成や、「宇都宮学」が学校教育で始まりますし、文化課職員が行っている出前講座のメニューに新たに8ストーリーを加えるなど、様々な手法があると思いますので、子どもたちの教育は最重要だと考えていますので、取り組んでまいりたいと思います。

河田委員長

ありがとうございました。他にございますか。

それでは次に、⑤「平成30年度 社会教育関係団体に対する補助について」に進みます。

関係団体の委員につきましては、恐れ入りますが一時退室をお願いします。

(補助金交付団体の関係者は退席)

それでは事務局から説明をお願いします。

事務局

**【資料について説明】**

河田委員長

ありがとうございました。

ご意見ご質問等ございましたらお願いします。

よろしいでしょうか。

(退室委員が席に戻る。)

以上で協議事項は終了いたしました。

続いてその他、①「平成30年度宇都宮市立小・中学校の「土曜授業」実施予定日について」説明をお願いします。

事務局

**【資料について説明】**

河田委員長

情報提供という事ですので、よろしくをお願いします。

以上で議事が全て終了しましたので、進行を事務局にお戻しします。

皆さん御協力ありがとうございました。

事務局

河田委員長、進行ありがとうございました。

それでは、次第3「その他」につきまして、事務局よりご説明いたします。

**【次回の会議日程について説明】**

本日は長時間に渡ってのご審議，誠にありがとうございました。

以上をもちまして，平成29年度第3回社会教育委員の会議を閉会いたします。